

平成 26 年 8 月 8 日

桜門体育学会 平成 27 年度プロジェクト研究 研究テーマに係る連絡

平成 25 年度総会において、27 年度以降も桜門体育学会主導のプロジェクト研究を推進することが承認され、平成 26 年度第 1 回理事会（5 月 31 日）で具体的な方法について審議されました。プロジェクト研究のテーマは平成 24～26 年度の 3 年間、会員の方々に公募しましたが、1 件の申し込みもなく、この間、文理学部体育学科の西川大輔先生を研究代表者としたプロジェクト研究が進められて来ました。この現状を踏まえ、27 年度のプロジェクト研究は会員からの一般公募はせず、研究委員会が中心となり「日本学術振興会科学研究費<基盤研究 B>」に申請し、採択された段階で会員の方々に「研究協力者」を募る案が同理事会で承認されました。以下、申請概要となります。

【研究の概要】

大学教育全体で重視されている事項（教育目標等）と体育授業、およびスポーツ活動との関係に係るテーマとする。すなわち、「コミュニケーション」、「ライフスキル」、「メンタルヘルス」、「学士力」、「コンピテンシー」等の概念と体育授業やスポーツ活動（運動部活動を含む）の体験頻度、および体験の質との関係を示すモデルを構築し、大学教育における体育授業やスポーツ活動の有用性を明らかにする。研究の観点は社会心理学を中核とするが、運動生理学やバイオメカニクス等の自然科学的観点、体育史や哲学等の人文科学的観点も取り入れる。

具体的には従来の研究のレビュー（日本と海外の現状と先行研究）を確認した上で、質問紙法による体育大学・学部生を対象とした大規模な横断的調査（5,000 名程度）、卒業生を対象とした「振り返り調査」（1,000 名程度）、在学生を対象とした縦断的調査（1,000 名程度）を実施する。

【申請スケジュール】

- 1) 研究委員会を中心とした申請書（案）作成（6～9 月）
- 2) 申請書（案）を第 2 回理事会（10 月中旬頃/理事会を開催するかメール会議とするかは未定）で検討・審査
- 3) 日本学術振興会に申請書提出（10 月末）

【申請額】

4 年間の継続研究とし、総額 2,000 万円程度

本研究申請が採択されたか否かは学会 HP、および平成 26 年度の総会で会員の方々に報告し、採択された場合、「研究協力者」を公募（平成 27 年 9 月末日頃締切予定）する予定です（採択された申請書は学会 HP に掲載します）。

以上